

道南の森へ、ようこそ。

取材文／はらみづほ

写真／森野孝行

撮影した2月でも、ご家族のほとんどがハサシ。針葉樹・道南スギの木肌は、あつたかなのです。



木+土+紙で、あったかい！

「あったかくて、明るくて、落ち着く！」というのが、道南スギなどの地元木材をふんだんに使った二世帯住宅に親子三代で暮らす、大口さんファミリーの満場一致コメント。「地場材で和風の家を建てたかったんです。地元のもの、北海道のもの、日本のものに愛着を感じるんですよね」とおっしゃる陽平さんは、ちょっと日本人離れした彫の深いお顔立ち。まだお若いのに和風好みとは、粹なセンスをお持ちです。

「ハウスメーカーのモデルハウスでは化学物質の匂いで頭が痛くなりましたが、この家は自然な木の香りでいい気持ち。

子育ても安心です」と香織さん。「自然素材の家だから、赤ちゃんがどこをなめても大丈夫」と、子育てサポーターの静枝さんからも太鼓判が。月に二回は大家族でジングルスカンをするそうですが、珪藻土の壁には油ハネの跡も残らず、焼肉臭も翌日にはすっかり消えているそう。さすが天然成分100%の調湿・消臭効果です。珪藻土の壁、無垢の木の柱・床・天井、そして、古新聞断熱材…。冬暖かく夏涼しい大口家には、森と自然の恵みがモリ沢山でした。

心+技で、あったかい！

「建って最初に家に入った時は、木の香り

「幸せ」をカタチにする。

世帯の数だけ幸せのカタチも千差万別。家づくりの第一歩は、住まい手の未来の姿まで見通した“快適と安心”についてじっくりと話し合い、それを実現する空間づくりを探ってゆくことです。図面を引く前に、まずは心ゆくまでご希望をお聞かせください。オリジナルの幸せを、共にカタチにしてゆきましょう！

専務・伊達支店担当 西條 晴彦



がいっぱい暖かく、本当に感激しました。息子夫婦主導の家作りでしたが、従って本当に良かったです」と治さん。「西條デザインさんは雑誌とHPで見つけました。問合せたら、遠いのにすぐ社長と専務が訪ねて来てくれて、伊達の専務の家や、設計士の山田さんの家を見せてくれたんです。家と一緒に人柄も見て、ここだ!と決めました」と陽平さん。

「社長も専務もすごく感じが良くてアドバイス的確でね、西條さんの言うことを聞いていれば間違いない、と信頼しています」と静枝さん。長女の結月ちゃんは、西條さんが来る日は「学校を休む!」と言うほど専務のファンだとか。大口家のあたたかさの源は、どうやら自然建材だけではなかったようです。

この記事の続きは、HPでお楽しみください。
<http://www.saijo-d.com>

BIO+
ビオプラス西條デザイン

◎企画・設計 有限会社 ビオプラス西條デザイン
本社:〒002-8081 札幌市北区百合が原4丁目8-1
Tel.011-774-8599 Fax.011-774-8581